

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第6学年 「図画工作（開隆堂）」

35時間（70%）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点
1 ～ 3	A表現 (1)イ(2)イ	感じたままに花	見たり想像したりした花を自分の好きな色の絵の具をたっぷり使ってかく。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	B鑑賞 (1)ア	わたしのお気に入りの場所	自分にとってなじみのある身近な場所から気に入った場所を選び表し方を工夫して絵に表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・写真を活用するなど、移動時間を削減できるよう配慮する。
	絵 【選択】	形と色が動き出す！	パターン(型紙)を使って同じ形を複数、繰り返してかいて動きを表現する。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
4 ～ 5	A表現 (1)イ(2)イ	なぞの入口から…	「入口」という言葉から、どんな所への入口か想像を広げ、入口の向こうの世界への思いをもって粘土で立体的に表す。	3	
6	A表現 (1)ア(2)ア	白い物語	身のまわりの白い材料を集め、白さや手触りの違いを味わいながら、思いついた活動をする。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
7 ～ 9	A表現 (1)イ(2)イ	動き出すストーリー	いろいろな動く仕組みのおもしろさを感じ取り、動き方からイメージを広げてつくりたいものを発想してつくる	6	
	B鑑賞 (1)ア	強くてやさしい組み木パズル	かきつき(切り込みを入れて組む接合方法)の技法を使って板材を中心に立体的な表現をする。	6	・製作する作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・ベニヤ板や圧縮材など、加工しやすい板を使用する。
	工作 【選択】			6	
10 ～ 11	A表現 (1)イ(2)イ	墨のうた	様々な濃さの薄墨をつかったり、縄やスタッフなどでオリジナルの筆をつかったりして表現の広がりを楽しむ。	3	
	B鑑賞 (1)ア	はさみと紙のハーモニー	身の回りにある紙をはさみで自由に切ってコラージュすることを楽しむ。	3	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	絵 【選択】			3	
12	A表現 (1)ア(2)ア	おどる光、遊ぶかげ	電球やLEDライト、プロジェクターなどを使って、色セロハンやお花紙、和紙などの身近な材料と組み合わせ、おもしろい光や影の世界をつくり出す。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
13	B鑑賞 (1)ア	見つけたことを話してみよう	絵画作品をよく見て、絵の中から見つけたことや感じたこと、想像したことなどを友達と話し合う	2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
14 ～ 17	A表現 (1)イ(2)イ	クローズアップで見える新世界	身近な場所の小さな所に注目し、デジタルカメラの大きく拡大する機能を使って接写する。撮影できた画面の形や色の特徴から感じたことや想像したことから思いを広げ、表したいことを見つける。	6	・デジタルカメラやタブレットPCなどのデジタル機器を活用する。
	B鑑賞 (1)ア	写して見つけたわたしの世界	ステレンボードの特徴を生かして、身辺材の型押しやボードの分解・再構成などで版をつくって表す。	6	
	絵 【選択】			6	・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。

18 ～ 21	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア	白の世界 6時間	軽さや耐久性に優れ、造形的な可能性も高い軽量紙粘土や液体粘土などを使い、思いのままに形ができる楽しさを味わいながら、自分の想像の世界を広げていく。	6	・製作する作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。
		布や枝のコンサート 6時間	布や枝などの特徴を感じながら、イメージを広げて表したいことを形にする	6	・製作する作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。
		わたしはデザイナー 12さいの力で 6時間	板材や角材をもとに、何かを入れて使って楽しむものをつくる。	6	・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	工作 【選択】	伝え方をたのしもう 6時間	伝えたいことの内容、伝え方に合った材料や用具の特徴をもとに表し方を工夫し、発表したり友達や地域の人たちと関わり合ったりする。	6	・製作する作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。

※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、絵の題材として、「感じたままに花」「わたしのお気に入りの場所」「形と色が動き出す！」のいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、製作時間の短縮を図る。

○題材によっては、乾燥に時間がかからない、油性ペンや色鉛筆、クレヨンなどの用具を使用する。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、児童が選択して製作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間でを行うことが考えられる。

○振り返り（製作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞するなどの工夫をすることが考えられる。友達作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して児童に返す。